

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン、  
そして子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度

## 「第5回キッズデザイン賞」

2011年3月3日、応募受付を開始。

経済産業大臣賞、少子化対策担当大臣賞に加え

「消費者担当大臣賞」を新設

キッズデザイン協議会

平素より、キッズデザインの推進に関しましてご指導、ご協力いただきましてありがとうございます。

私どもキッズデザイン協議会(内閣府認証NPO、本部:東京都文京区、会長:和田勇)が主催する第5回キッズデザイン賞は、2011年3月3日(木)10:00からウェブサイト([www.kidsdesignaward.jp](http://www.kidsdesignaward.jp))上に応募フォームを公開、応募受付を開始いたします(応募締切は5月9日(月)23:59まで)。実施概要につきましては別紙の通りです。

第5回となる本年のキッズデザイン賞では、昨年第4回の最優秀賞である経済産業大臣賞および少子化対策担当大臣賞に加え、新たに消費者担当大臣賞を設定いたしました。これに伴い、改めて賞体系を見直しています。

また本年も引き続き、一般生活者の方々から身の回りの子ども目線に優れた製品やサービスをキッズデザイン賞に推薦いただく仕掛けとして、「あなたのおすすめ!キッズデザイン」をウェブサイトに同時展開し、生活者目線でのキッズデザインの推進へとつなげていきます。

キッズデザイン賞は「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向け製品・サービスに限らず、大人向けのもので、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを幅広く募集します。受賞作品は、「キッズデザインマーク」を使用することができます。

次世代育成や少子化対策など、子どもを取り巻く環境にますます注目が集まる中、キッズデザイン賞の社会的、文化的な位置づけや評価も年々高まっています。今後とも引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。



<キッズデザイン 3つの基本理念>

### ①子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子どもの身体特性や行動特性、不測の状況が子どもにもたらす影響などに配慮し、技術や素材においてもその応用・活用が優れているデザイン

### ②子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの創造力を喚起・進化させる仕掛けや、身体的・精神的発育に対して新たな提案、子どものコミュニケーション能力、表現能力を高める工夫が施されているデザイン

### **③子どもたちを産み育てやすいデザイン**

子どもの安全を確保し、かつ親(大人)の身体的・精神的負担の軽減や、出産、育児を安心して、楽しく行うための配慮がなされているデザイン

## 『第5回キッズデザイン賞』実施概要

WEB サイト: <http://www.kidsdesignaward.jp/>

【応募期間】 2011年3月3日(木) 10:00 ~ 5月9日(月) 23:59

【主催】 特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会

【後援】 経済産業省

## 【応募部門】

■応募者は、キッズデザイン3つの理念から設けられた6つの部門に、今回からテーマ賞として設けられた新たな1部門を加えた、合計7つの部門の中から応募部門を選択します。

## 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

一般向けも含めた子どもの視点による安全・安心に関する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

※キッズ・コンシューマーサポート部門の対象は除く。

- ① **キッズセーフティ部門** (子ども(0~14歳)を対象にしたもの)
- ② **ユニバーサルセーフティ部門** (大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの)

## 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

※キッズ・コンシューマーサポート部門の対象は除く。

- ③ **フューチャーアクション部門** (サービス、ワークショップ、CSR、研究など活動やソフトを中心としたもの)
- ④ **フューチャープロダクツ部門** (製品、施設などのハードを中心としたもの)

## 子どもたちを産み育てやすいデザイン

妊婦やその周辺の人、乳幼児や子育て支援に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

※キッズ・コンシューマーサポート部門の対象は除く。

- ⑤ **ソーシャルキッズサポート部門** (サービス、ワークショップ、CSR、研究など活動やソフトを中心としたもの(産み育て支援プログラム))
- ⑤ **ソーシャルキッズプロダクツ部門** (製品、施設などのハードを中心としたもの(産み育て支援プログラム))

## テーマ賞(新設)

キッズデザイン3つの理念のいずれかに基づいた、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組み、それに資する社会環境づくり、消費者の行動を促す取り組みなどを対象に選定(3つの理念のうちどれに該当するかを応募時に選択いただけます。)

- ⑦ **キッズ・コンシューマーサポート部門** (教育プログラム、情報収集・発信の活動、子どもを含む生活者への啓発を行う活動、表示、媒体など)

※安心で豊かな消費生活を送るための基礎となる、子どもへ向けた知識の習得、社会体験の実践、及びこうした活動を支援する製品、サービス全般を対象にします。例として、「子どもがものの仕組みや関係を学ぶための製品、サービス、プログラム」、「子どもが消費行動を体験するための製品、サービス、プログラム」などが挙げられます。

■その上で、応募の対象作品の分野を次の4つの中から選択します。

### 商品デザイン分野

： 家電、おもちゃ、本、ファッション、アパレル、化粧品、靴、インテリア、寝具、キッチン、日用品、雑貨、文具、伝統工芸品、菓子、飲料、食品、スポーツ、乗り物、福祉機器、ソフト、その他あらゆる工業製品のデザイン。キッズデザインの考え方に資するシステム、機器などを含む。

### 建築・空間デザイン分野

： 住宅、施設、公園、景観、土木、造園、緑化、その他あらゆる空間・ランドスケープ・修景のデザイン。

### コミュニケーションデザイン分野

： イベント、ワークショップ、セールスプロモーション、パブリックリレーションなどのコミュニケーション活動のデザイン、また、企業、NPO、自治体等の団体が進める公共性の高い社会貢献活動、地域での取り組み・サービス・行事、ウェブその他の媒体等を活用したコミュニケーション活動など。

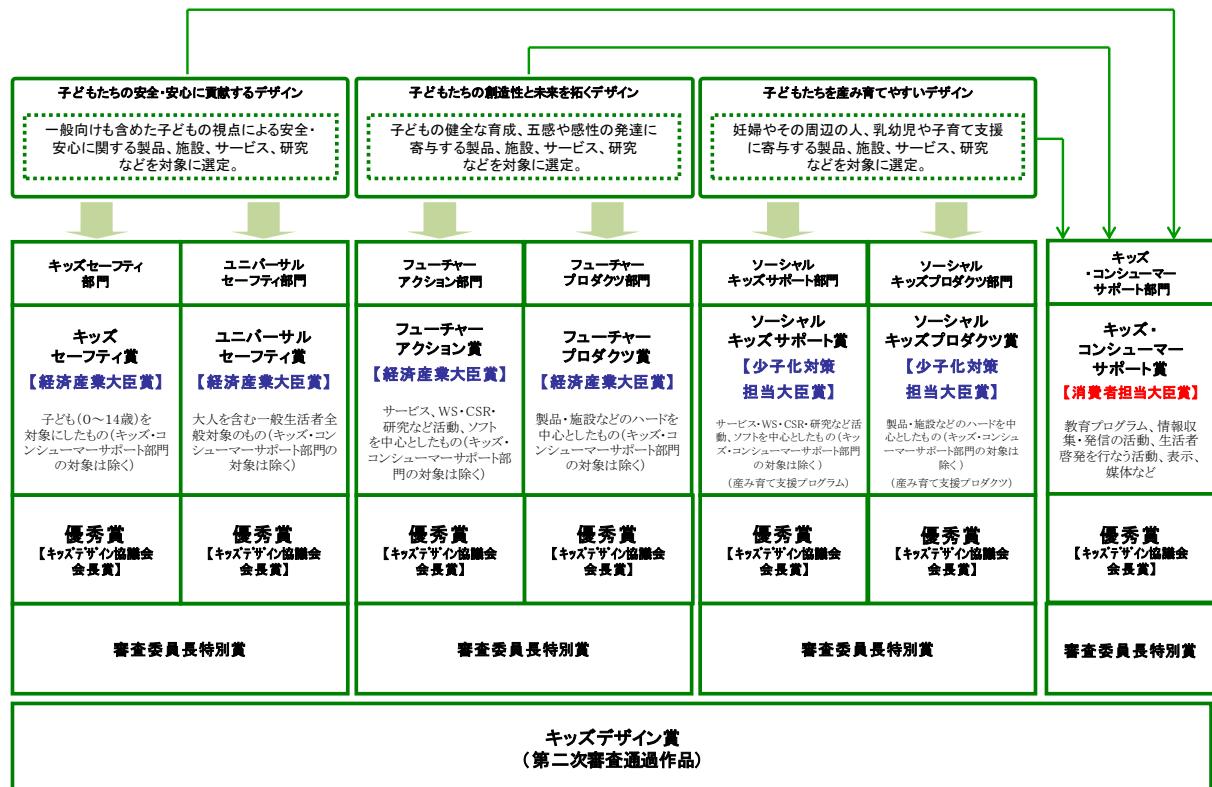
### リサーチ分野

： 児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。

※リサーチ分野の受賞作品は原則としてそのデータを含めた成果を公開し、社会が共有することでキッズデザインの普及に役立てることを意図しています。そのために、リサーチ分野の審査料は応募者を問わず無料としています。

## 【賞の構成】

第二次審査を通過した作品は、キッズデザイン賞として顕彰します。そのうち、7つの部門それぞれで最も優れたものに最優秀賞として大臣賞が授与されます。具体的には、「キッズセーフティ賞」、「ユニバーサルセーフティ賞」、「フューチャーアクション賞」および「フューチャープロダクツ賞」には経済産業大臣賞が、また、「ソーシャルキッズサポート賞」および「ソーシャルキッズプロダクツ賞」には少子化対策担当大臣賞が、「キッズ・コンシューマーサポート賞」には消費者担当大臣賞が授与されます。



## 【応募費用】

第一次審査費用: 無料

第二次審査費用: 52,500 円(税込)

- ・ 第一次審査を通過した作品のみ、第二次審査(現物審査)にかかる費用として 52,500 円が必要になります。
- ・ 第二次審査を通過した作品はキッズデザイン賞が授与されます。
- ・ 自治体、ならびに、国公立の機関(学校、病院、博物館など)のみが応募者となる場合は部門を問わず審査料は無料です。
- ・ リサーチ分野における審査料は、応募者を問わず無料とします。ただし、データシートの添付と、受賞後の公開が原則となります。

最終審査費用: 第二次審査費用に含まれます

## 【応募先】

web サイトからの応募を原則とします。

応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

## 【スケジュール】

- ・ 応募受付開始 2011 年 3 月 3 日(木)
- ・ 応募受付締切 2011 年 5 月 9 日(月)
- ・ 第一次審査(書類審査) 2011 年 5 月 10 日(火)~5 月 24 日(火)
- ・ 第一次審査結果通知 2011 年 5 月 25 日(水)
- ・ 第二次審査用現物指定場所搬入期間 2011 年 6 月 21 日(火)~6 月 22 日(水)
- ・ 第二次審査(現物審査) 2011 年 6 月下旬
- ・ 第二次審査結果通知(キッズデザイン賞告知) 2011 年 7 月上旬
- ・ 最終審査 2011 年 7 月中旬
- ・ 最優秀賞等発表 2011 年 8 月上旬予定

## 【審査のポイント】

- ・ キッズ・コンシューマーサポート部門を除く6部門(キッズセーフティ部門、ユニバーサルセーフティ部門、フューチャーアクション部門、フューチャープロダクツ部門、ソーシャルキッズサポート部門、ソーシャルキッズプロダクツ部門)は、キッズデザイン3つの理念のいずれかに適い、且つ4つのアピールポイントのどの内容に優れているかを審査評価します。
- ・ キッズ・コンシューマーサポート部門については、キッズデザイン3つの理念のいずれかへの適合性に加えて、未来の自立した消費者となるべき子どもを育む取り組みやそれに資する社会環境づくり、あるいは消費者の行動を促す取り組みなどにおいて優れているものを審査評価します。

### ①機能性/操作性

- ・ 用途に応じた機能性が高いレベルで実現されている。
- ・ 明快でシンプルな使い勝手を約束している。
- ・ データや事例に基づき、設計に十分な配慮がなされている。

### ②社会提案性/有用性

- ・ 3つの理念に資する、生活者に豊かな価値を提案・提供している。
- ・ 3つの理念に資する、社会に新しい価値を提案・提供している。
- ・ 子どもを取り巻く新たな市場開発、価値開発に成功している。

### ③新規性/独創性

- ・ 製品を取り巻く新たな課題発見に成功し、その解決策を提示している。
- ・ 従来製品(分野)を相当程度改善し、新しい価値を生み出している。
- ・ ユニークな視点で開発・製造されている。

### ④意匠性/造形性

- ・ 機能が明快に意匠性高く解決されている。
- ・ 子どもにも大人にも、直感的に機能が理解されるデザインを実現している。
- ・ フォームや色彩感覚が優れている。
- ・ 用途に応じた使いやすさが十分に考慮されている。

## 【審査委員】

審査委員長:赤池 学 (科学技術ジャーナリスト ユニバーサルデザイン総合研究所所長)

副審査委員長:持丸 正明 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター長)

山中 龍宏 (小児科医 緑園こどもクリニック院長)

審査委員:赤松 幹之 (産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門長)

大月 ヒロ子 (ミュージアム&エデュケーションプランナー アイデア代表)

紺野 登 (デザインコンサルタント 多摩大学大学院教授)

佐藤 卓 (グラフィックデザイナー 佐藤卓デザイン事務所代表)

竹村 真一 (文化人類学者 京都造形芸術大学教授)

西田 佳史 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター)

ひびの こづえ (コスチュームアーティスト)

益田 文和 (東京造形大学教授 オープンハウス代表取締役)

水戸岡 鋭治 (インダストリアルデザイナー ドーンデザイン研究所代表)

宮城 俊作 (ランドスケープアーキテクト 奈良女子大学教授)

山中 俊治 (慶應義塾大学教授 リーディング・エッジ・デザイン代表)

## 【生活者推薦「あなたのおすすめ!キッズデザイン」】

一般の生活者の方から、キッズデザインな製品やサービスを募集し、企業等に応募を促す生活者推薦「あなたのおすすめ!キッズデザイン」を本年も実施します。<http://www.kidsdesignaward.jp> の TOP ページより、どなたでも推薦対象の投稿ができます。

## 【キッズデザインマークについて】

キッズデザイン賞を受賞した対象は、任意でキッズデザインマークをつけて、その成果を訴求することができます。キッズデザイン協議会が実施した一般消費者を対象に実施したアンケートにおいては、7割以上の人がキッズデザインマークのついた商品を購入したいと回答しています。キッズデザイン賞のシンボルマーク(キッズデザインマーク)のコンセプトは「割れた形、壊れてはじめて気づく子どもの安全・安心」。グラフィックデザイナー佐藤卓氏によるデザインです。

キッズデザインマークの使用料については、<http://www.kidsdesignaward.jp> でご確認ください。

また第5回キッズデザイン賞受賞作品に限り、マーク使用キャンペーンとして下記のいずれかに当てはまる受賞作品には無償でキッズデザインマークをご使用いただけます。

- ・ 中小企業(※)からの応募作品
- ・ 食品、及び飲料メーカーの受賞作品



※ 中小企業基本法第 2 条の規定による。但し大企業である親会社から出資を受けている場合は中小企業に該当しません。

**【第5回キッズデザイン賞応募事務局】**

TEL 03-3549-0058 (平日 10:00~17:00) FAX 03-3549-0087

お問い合わせ専用メールアドレス [2011kids@kidsdesign.jp](mailto:2011kids@kidsdesign.jp)

— 本件の内容に関するお問い合わせ —

キッズデザイン協議会: 藤井、大竹

TEL: 03-3570-9535 FAX: 03-3570-9536 E-Mail: info@kidsdesign.jp

FAX送信番号 <03-3570-9536>

「キッズデザイン協議会」藤井 行

## 広報用画像 申込書(FAX専用)

「第5回キッズデザイン賞」をご紹介いただける場合や、広報用写真を希望される方は、  
必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。

※下記広報担当まで掲載紙・誌を一部お送りいただけますと幸いです。

貴社名	
貴誌名・メディア・部署	
ご担当者	
ご連絡先	TEL: _____ FAX: _____
ご住所	〒 _____
メールアドレス(データ送付先)	
掲載予定日/コーナー名	
<b>ご希望項目</b>	
画像名	手配期限 月 日 時頃迄
1) ロゴ画像を希望 	<input type="checkbox"/> データ送信を希望
2) その他の画像を希望	希望する内容(過去の受賞作品など):
【通信欄】	

～お問い合わせ～  
NPO キッズデザイン協議会  
担当：藤井、大竹  
〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6  
日本科学未来館 研究棟305  
TEL：03-3570-9535 FAX：03-3570-9536